

第2期草津市国民健康保険保健事業推進計画（案）

（第3期データヘルス計画）

（第4期特定健康診査等実施計画）

【概要版】

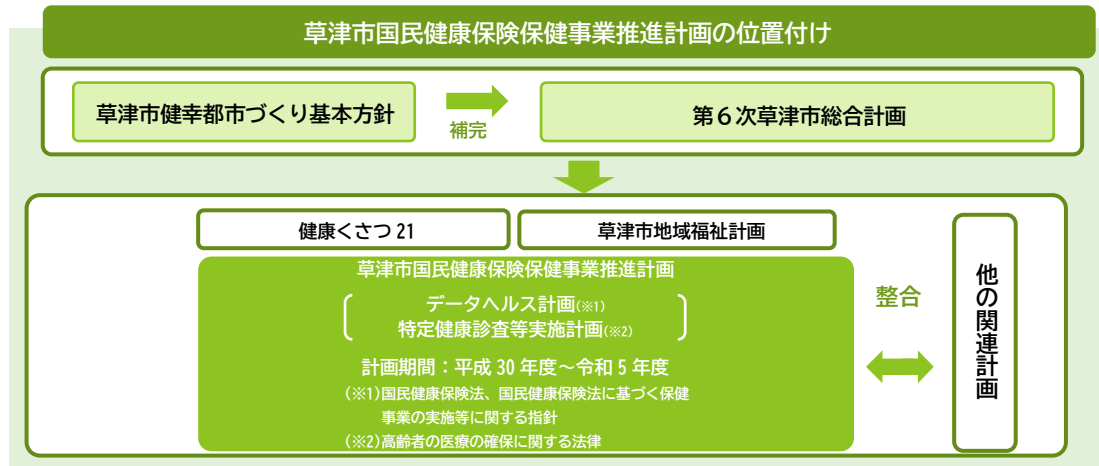
令和6年3月

本市では、生活習慣病対策をはじめとして、被保険者の自主的な健康増進および疾病予防の取組について、被保険者の特性を踏まえた効果的かつ効率的な保健事業を展開するために、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」（厚生労働省告示）（以下、「国指針」という。）を踏まえ、平成30年度から令和5年度の6年を1期とする「草津市国民健康保険保健事業推進計画（第2期データヘルス計画）（第3期特定健康診査等実施計画）」を平成29年度に策定し、国民健康保険被保険者（以下「被保険者」という。）の健康の保持と増進および医療費の適正化を目指して、保健事業を実施してきました。

令和5年度をもって両計画の期間が満了することから、第2期計画「草津市国民健康保険保健事業推進計画（第3期データヘルス計画）（第4期特定健康診査等実施計画）」を策定します。

計画の位置付け

本計画は、「第6次草津市総合計画」を上位計画として、「健康くさつ21（第3次）」や「草津市地域福祉計画」等の関連計画との整合性を図ります。



草津市を取り巻く現状

草津市の国民健康保険被保険者の動向

本市の総人口は年々増加していますが、被保険者の数は年々減少しており、市の総人口に占める割合は令和5年で15.7%となっており、令和元年から2.1ポイントの減少となっています。

被保険者の推移

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
本市	総人口（住民基本台帳）	134,224人	135,166人	136,254人	137,321人	138,600人
国保	被保険者数	23,948人	23,417人	23,285人	22,790人	21,825人
	総人口に占める割合	17.8%	17.3%	17.1%	16.6%	15.7%
	前期高齢者数	10,891人	10,688人	10,720人	10,499人	9,661人
	前期高齢者割合	45.5%	45.6%	46.0%	46.1%	44.3%
	世帯数	15,309世帯	15,224世帯	15,300世帯	15,027世帯	14,666世帯



医療費の状況

医療費の状況

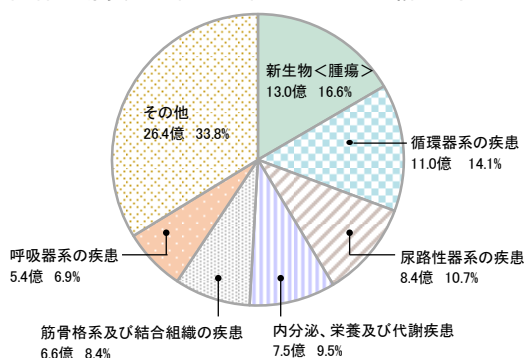
医療費の疾病別構成割合としては、「新生物<腫瘍>」（13.0 億円、16.6%）、「循環器系の疾患」（11.0 億円、14.1%）の順に高い状況です。

「新生物」については、がん検診の促進、「循環器系の疾患」「泌尿器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」等に関する生活習慣病に関しては特定健診の受診や特定保健指導の利用を促進することにより、医療費を削減していくことが求められます。

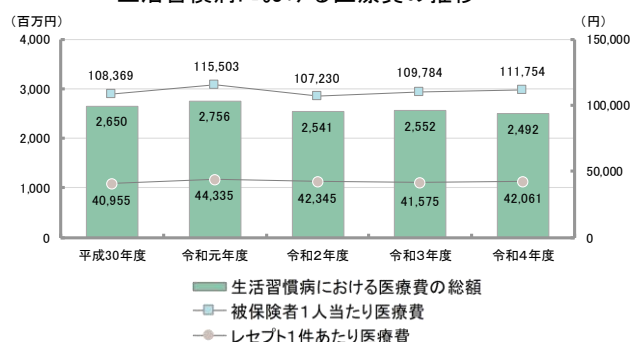
生活習慣病における医療費の推移をみると減少傾向にあり、令和4年度で24 億9,200 万円となっています。

一方、令和4年度の被保険者1人当たり医療費は新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度に減少したものの、その後緩やかに増加しています。

国保医療費（入院・入院外）疾病別構成割合



生活習慣病における医療費の推移



特定健診・特定保健指導の状況

特定健診

平成30年度以降の特定健診の実施状況をみると、特定健診受診率は、新型コロナウイルス感染症による受診控えから令和2年度に低下しています。また、受診率の実績は、計画に定める受診率の目標に達していない状況です。

特定健診受診率の推移

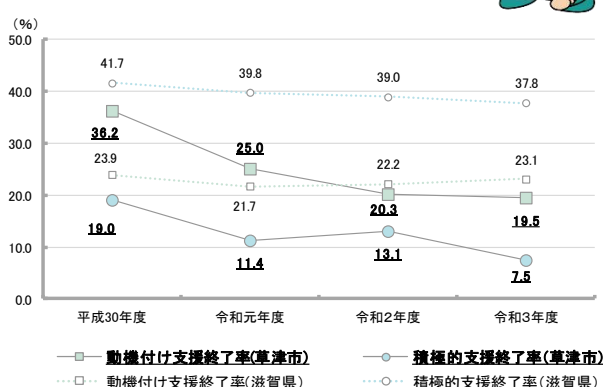
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受診率(目標)	40.0%	45.0%	50.0%	50.0%
対象者	16,313人	15,897人	15,846人	15,557人
受診者	6,284人	6,241人	5,347人	5,655人
受診率(実績)	38.5%	39.3%	33.7%	36.4%

特定保健指導

特定保健指導終了率の推移をみると、動機付け支援の終了率は年々減少しており、令和3年度で終了率は19.5%となっています。

また、積極的支援については、令和3年度で終了率は7.5%となっています。

特定保健指導終了率の推移



草津市国民健康保険における現状課題と方向性

方針	現状	課題	課題解決に向けた方針・方向性
健康づくり	医療保険制度の適正運営に満足・やや満足と回答した市民の割合（市民意識調査） 目標値:35.0% 実績値:30.1%	医療保険制度の継続的な周知・啓発が必要です。	被保険者 1 人ひとりの健康の維持・増進が医療費の適正化を通じて医療保険制度の持続可能性を高めることにつながることから、被保険者の健康への意識をさらに高め、行動変容を促す取組を行います。
生活習慣病予防	特定健診受診率（※1） 目標値:60.0% 実績値:38.8% 滋賀県:39.3%	特定健診を受診しやすい環境を整えることが必要です。	特定健診未受診者の性年代別、生活習慣の状況等に応じて、通知や電話、ホームページ等で受診勧奨を行うなど、効果的な受診勧奨方法を検討・実施します。また、健診(検診)受診率向上のため、特定健診とがん検診の同時けん診の促進を図ります。
	特定保健指導実施率（※1） 目標値:60.0% 実績値:16.7% 滋賀県:34.7%	保健指導判定値の方の保健指導利用対策が必要です。	特定保健指導の成果等について見える化を進め、アウトカムの達成状況の把握や要因の検討等を行うなど、より質の高い保健指導を行います。
重症化予防	ハイリスク者の医療機関受診率 目標値:80.0% 実績値:62.7%	健診の結果、医療機関での治療が必要な人に対して、医療機関への受診に繋げるための受診勧奨が必要です。	重症化の観点から、特に医療機関の受診が必要な人に対して、健診結果を分析し、受診の必要性を訴えるなど、ハイリスク者の医療機関の受診率が向上するよう、効果的な受診勧奨を行います。
	糖尿病性腎症重症化予防対象者の医療機関受診率 目標値:80.0% 実績値:38.2%	糖尿病性腎症患者への重症化予防対策が必要です。	糖尿病性腎症が重症化するリスクの高い人に対して、医療機関の受診勧奨や保健指導を行います。
医療費適正化	重複・頻回受診者、重複服薬者のレセプト改善率 目標値:60.0% 実績値:50.0%	医療費適正化に向けて訪問事業を引き続き実施していくことが必要です。	医療費適正化に向けて、重複・頻回受診者、重複服薬者への重症化予防として、訪問による生活指導を行います。
地域の健幸、フレイル予防等	要介護者の有病状況（国保・後期）（※2） 糖尿病： 実績値:27.8% 滋賀県:26.1% 脂質異常症： 実績値:36.2% 滋賀県:32.8%	介護が必要になる背景には、不適切な生活習慣が影響しており、自立した生活がおくれる高齢者を増加させることが必要です。	フレイル予防・介護予防のために、地域の社会資源を活用した保健事業を検討するとともに、関連各課と連携した保健事業を展開します。

※1…県の共通指標による値を記載しています

※2…滋賀県のデータヘルス計画 支援資料集の値を記載しています

計画の目標

長期目標

① 健康寿命の延伸

個別保健事業および中期目標に取り組むことにより、生活習慣病の予防と早期発見・早期治療を推進し、長期目標とする「健康寿命の延伸」を図ります。

中期目標

① メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少

生活習慣病の予防には、まずはその前段階の状態と言えるメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に向けた取組が必要といわれています。受診対象者の実態把握や医療機関受診の啓発を行い、メタボリックシンドロームに関する項目の該当者や予備群の減少を目指します。（令和11年度目標値：21.8%）

② 新規人工透析患者数の減少

糖尿病予防、重症化予防を促進することにより、新規透析導入者の減少を目指すとともに、医療費の適正化を図ります。（令和11年度目標値：9人未満）

各事業の成果指標一覧

方針	方向性	指標（アウトカム）	現状	目標値	
				令和8年度	令和11年度
健康づくり	健康意識の向上	週に1回（30分以上）は運動をしている市民の割合	57.7%	66.0%	69.0%
生活習慣病の予防	特定健診受診率の向上	特定健診受診率(※)	36.4%	50.0%	60.0%
		3年連続未受診者(※)	42.8%	41.5%	40.0%
		特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの方の割合(※)	39.0%	37.0%	35.0%
		40歳代の健診受診率(※)	23.8%	25.0%	26.5%
	特定保健指導実施率の向上と質の高い保健指導の実施	特定保健指導実施（終了）率(※)	16.7%	38.5%	60.0%
		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(※)	21.9%	24.0%	26.0%
		動機付け支援実施率	19.5%	40.0%	60.0%
		積極的支援実施率	7.5%	34.0%	60.0%
	がん検診の受診率の向上	胃がん検診受診率	1.8%	7.1%	12.5%
		子宮頸がん検診受診率	12.7%	17.4%	22.1%
		乳がん検診受診率	12.5%	20.2%	27.8%
		大腸がん検診受診率	15.2%	19.0%	22.7%
		肺がん・結核検診受診率	19.3%	23.7%	28.1%
	生活習慣病の早期発見・早期治療	高血糖者の割合(※)	9.5%	9.4%	9.2%
		血圧が保健指導判定値以上の方の割合(※)	49.3%	46.5%	44.0%
生活習慣病の重症化予防	糖尿病性腎症および生活習慣病の重症化予防	糖尿病性腎症重症化予防対象者の医療機関受診率	38.2%	59.0%	80.0%
		HbA1c8.0%以上の方の割合(※)	1.2%	1.1%	1.0%
		HbA1c6.5%以上の方のうち、糖尿病のレセプトがない方の割合(※)	15.9%	14.4%	12.9%
医療費の適正化	適正受診・適正服薬の推進	重複・頻回受診者、重複服薬者のレセプト改善率	50.0%	56.0%	62.0%
		ジェネリック医薬品の利用率	80.3%	80.5%	82.0%
地域包括ケアおよびフレイル予防	地域資源を活用したフレイル予防	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合	77.4%	79.0%	80.5%

指標（アウトカム）の（※）は、市町・県の共通目標です